



施工説明書

キッチン用台付きシングル湯水混合水栓

ホース引出しタイプ/耐圧フレキホース仕様

LED 照明付

10.121.103.シリーズ

照明なし

10.111.103.シリーズ

このたびは、当社の商品をお買い求め頂き誠に有難うございました。

施工の前に必ずこの説明書をお読み下さい。その後は、お客様にこの施工書を保管して頂くようお渡し下さい。

もくじ

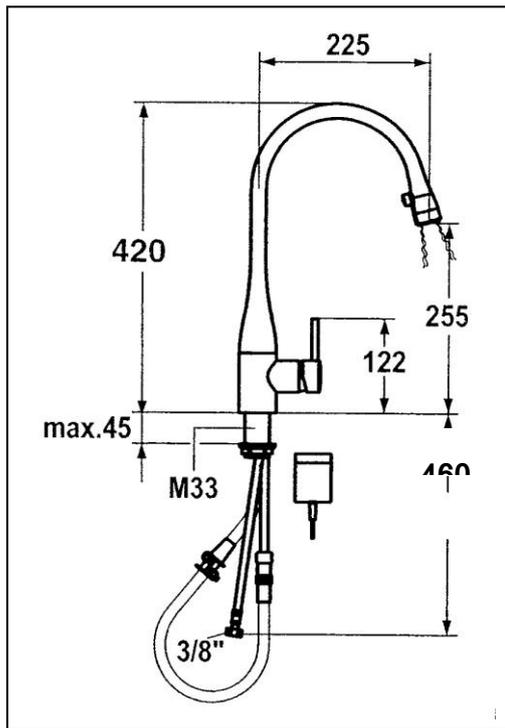
商品図・安全上のご注意	2
使用条件・施工前の注意事項	3
施工	4・5・6・7
施工後の確認	8

ミスタニバルブ工業株式会社

〒511-2257 岐阜県山県市富永 194

TEL (0581) 52-2131 FAX (0581) 52-2622

寸法図



*取付穴径 $\phi 35\text{mm}$

*LED 照明付のタイプは、電源コンセントが必要です。(AC 100V)

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認後お客様に使用方法・お手入れ方法を説明してください。
- この施工説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくよう依頼してください。



注意 取扱を誤った場合に、使用者が軽症を負うか又は物的破損のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。



注意



湯水を逆に配管しないで下さい。
※水を出す操作をして湯が出てヤケドをする恐れがあります。



引渡し前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※凍結破損による漏水で家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

●使用条件

給水給湯圧は次の条件を守って下さい。

- ・ガス給湯器（比例制御式 16 号相当）と組み合わせる場合
給水圧力 最低必要圧 $A + 0.04\text{MPa}$ ※A はガス給湯器の最低作動圧力です。
最高圧力 0.6MPa
測定条件 レバーハンドルは全開です。
給水圧はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
- ・貯湯式温水器と組み合わせる場合
給水、給湯圧力 最低必要圧力 0.05MPa
最高圧力 0.6MPa
- ・給水圧力 0.6MPa を超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力 $0.20\sim 0.39\text{MPa}$ 程度にして下さい。
- ・温度調節を容易にする為に給水・給湯圧力の差圧はなるべく小さくして下さい。
- ・給湯には蒸気を使用しないで下さい。
- ・湯沸器の設定温度は $47^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ に設定し、レバー操作により希望温度に調節することで快適な流量が得られます。

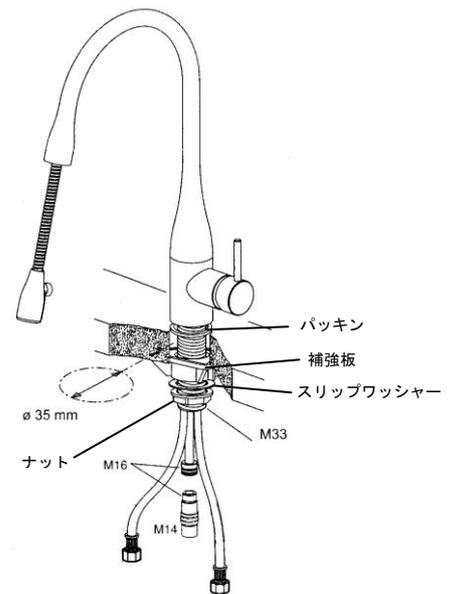
●施工前の注意事項

- ・給水は上水道に接続して下さい。※温泉水・井戸水等には使用できません。
- ・逆配管をしないで下さい。
- ・取付後の点検やメンテナンスのため、必ず止水栓と点検口を設けて下さい。
- ・配管工事の際のゴミが配管内に残っていることがありますので、必ず配管内の異物を全て洗い流してから接続して下さい。
- ・ホース付水栓はホースが破損した場合にキッチンキャビネット内に水が垂れることを防ぐため水受容器（別売）の設置をして下さい。
- ・湯を使用する際、レバーハンドルを後方に倒します。この時キッチンのバックカウンターや壁にレバーハンドルがあたらないよう、水栓の取付穴後方は 100mm 程度の余裕を持って下さい。
- ・キャビネット内にコンセントを設置して下さい。その際、コンセントはホース接続部（接続ジャック）の水平位置より上に、また、コード長さは、約 80cm ですので、コードがたるむように余裕のある位置に設置して下さい。
(LED 照明付の場合)

●施工

1、本体の取付け《照明なし/LED 照明あり共通》

- ① 本体は三角固定板を除く全ての取付け部品が仮組込されています。
本体真下の平パッキン以外を取り外して下さい。
- ② 本体真下（座部）に平パッキンが入っていることを確認し、本体をカウンター穴に差し込みます。
- ③ レバーハンドルが正面向かって右側にあることを確認し、カウンター下より三角補強板、スリップワッシャーを本体芯に組込み、締付ナットで締付けて下さい。

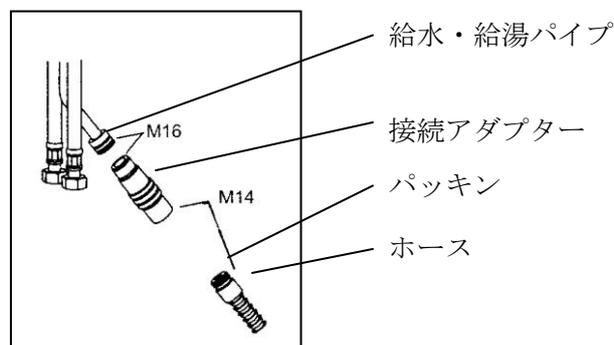


※三角固定板はカウンターの厚みが十分でない場合に使用します。

※必ずレバーハンドルが正面に向かって右側になるようにセットして下さい。

2、給水・給湯パイプとホースの接続《照明なし/LED 照明あり共通》

- ① ホースは、あらかじめホースガイドを通してあります。また、本体（給水・給湯パイプ）に直接ホースの接続は出来ませんので、同梱の接続アダプターをご使用下さい。
- ② パッキンが入っていることを確認し、給水・給湯パイプ先端のネジをホースにプライヤー等で十分に締め付けてください



3、ホースストッパーの取付け《照明なし/LED 照明あり共通》

※ホースを引出し過ぎないようにするためのストッパーです。

① ノズルヘッドが約 60cm (右図 A) 引出せる

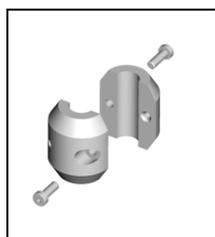
ホース位置にストッパーを取付けて下さい。

※本体接続部よりストッパーまで 30cm (右図 B)。

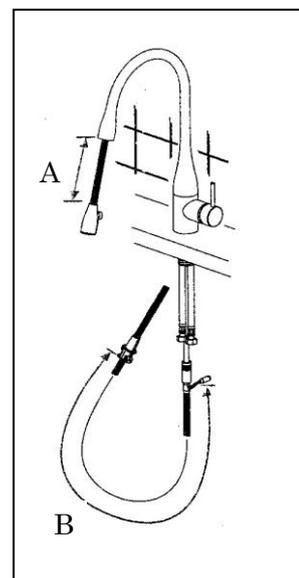
※キッチンシンクのサイズに応じて変えて下さい。

※「水受容器の設置」欄、もご参照下さい。

② ストッパーでホースを鉗みビスで固定します。



《標準例》



A=約 60cm

B=約 30cm

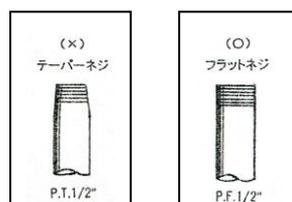
※ 取付後は、2～3 回ノズルヘッドを出し入れし、ホースのねじれやホースが止水栓にぶつからないことを確認して下さい。

4、逆止弁付配管アダプター、給水・給湯管または耐圧フレキホースの接続

《照明なし/LED 照明あり共通》

※ アダプターは G(PF) 1/2 の平行ネジです。テーパネジは接続しないで下さい。

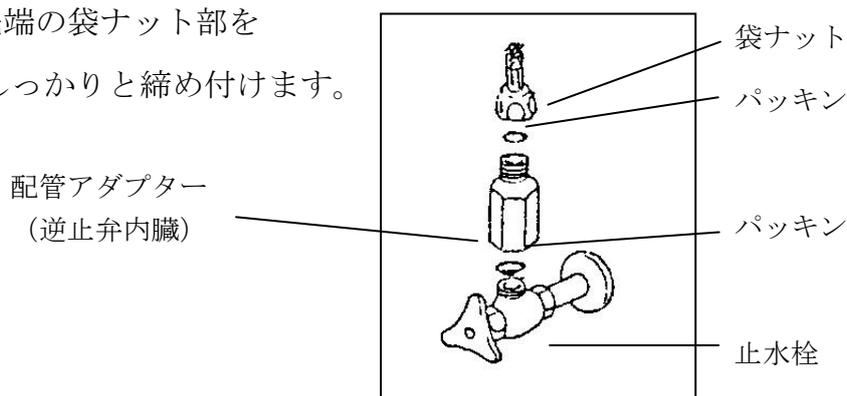
テーパネジを接続するとアダプターが破損して水漏れをおこす恐れがあります。



※ 必ず純正のパッキンを使用し、シールテープや配管用接着剤は使用しないで下さい。
水漏れを起こす恐れがあります。

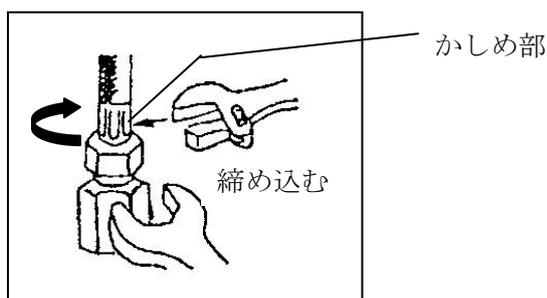
① 配管アダプターにパッキンを入れ、止水栓にしっかり固定します。

② 耐圧フレキホース先端の袋ナット部を配管アダプターにしっかりと締め付けます。

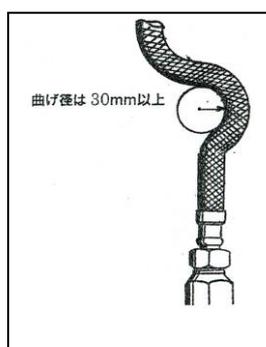


ホースかしめ部が回転しないように、モンキーレンチやプライヤー等でしっかりと固定しながら袋ナットを締め付けて下さい。

かしめ部を固定しないとホースがねじれ漏水や、吐水量が著しく不足する恐れがあります。

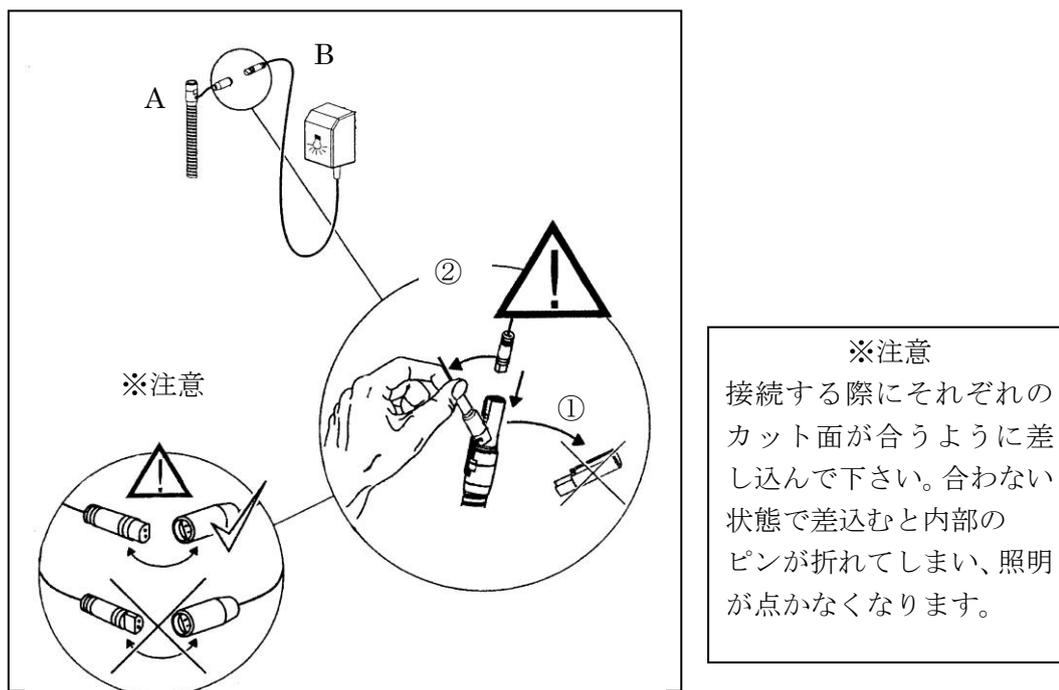


※ 耐圧フレキホースの最小曲げ半径は 30mm です。これ以下の曲げ半径となる位置への止水栓の設置は避けて下さい。ホースが折れて通水されず吐水量が著しく不足する原因となります。

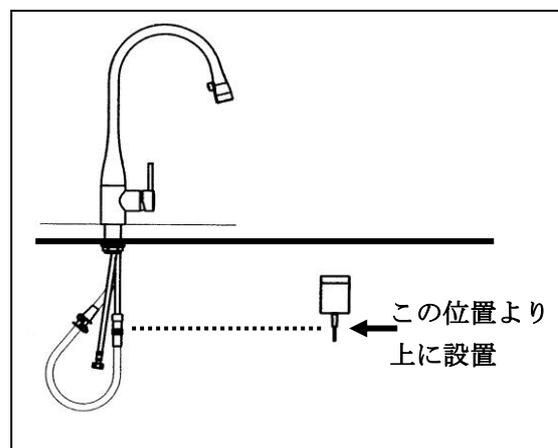


※フレキホースは本体にネジ込みにて固定してあります。フレキホースを止水栓に取り付ける際にフレキホースを回転させると本体との接続部より水漏れが発生しますので回転させないようにご注意ください。

5、電源部の接続《LED 照明付のみ》



- 1.最初、ホース側のジャックは、白いプラスチック製の保護カバーの内側に収められています。保護カバーがついた状態で、ホース側のジャック (A) とコンセント側のジャック (B) を接続します。接続する際、各々のジャックの向きに注意して下さい。
(上記、注意参照) また、接続の前に、保護カバーを無理矢理取らないで下さい。
- 2.ジャック同士を接続したら、②のように保護カバーの開いている部分から接続部を倒して取出して下さい。接続部の取出し後は、保護カバーは不要になります。
- 3.キャビネット内部にコードクランプを取付けて下さい。
コード長さは、約 80cm です。たるみが出るようにクランプで固定して下さい。
- 4.AC アダプターをコンセントに取付けて下さい。コンセントの位置は、ホース接続部の水平位置よりも高い位置に設置して下さい。



●施工後の確認

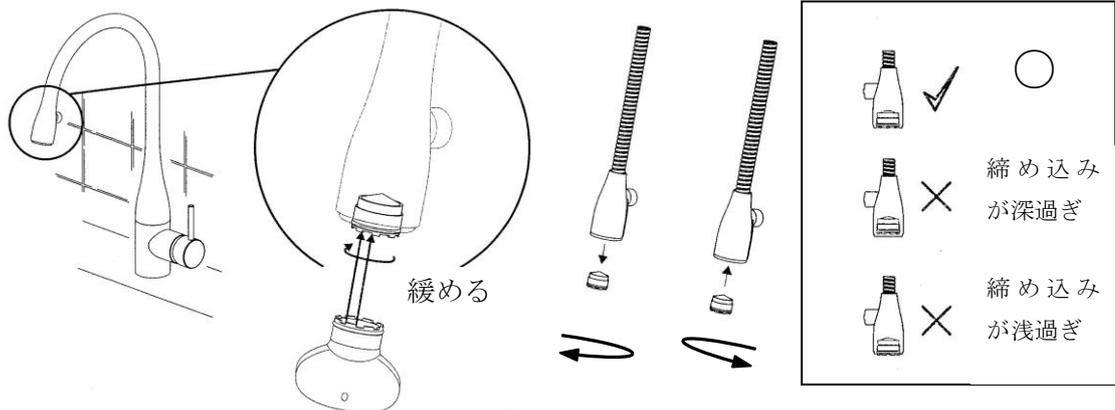
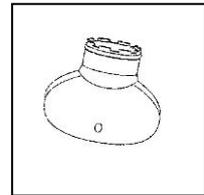
1. 全ての施工完了後、再度、接続部ネジの締め付けを確実に行って下さい。
2. 水漏れがないか再度、確認をして下さい。
3. レバーを中央で開栓して通水して下さい。（5～10分）その後、下記の要領でゴミ詰りの確認をして下さい。

① レバーハンドルを止水状態にして整流器を緩めて下さい。

（付属の専用工具/青色を使用し、工具の凹凸部と整流器の凹凸部を合わせて緩めて下さい。）

② 整流器を取り外し、ゴミを取り除いて下さい。

③ ①と反対の要領で整流器を締め付けて下さい。



整流器は、締め付ける際にヘッドを横から見て同じ深さ（位置）になるように調節して下さい。

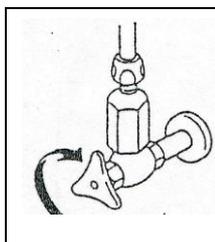
4. ノズル裏側のスイッチを押し、LED 照明が点くか確認して下さい。

吐水と LED 照明の連動性はありません。

5. 給水給湯圧の調整

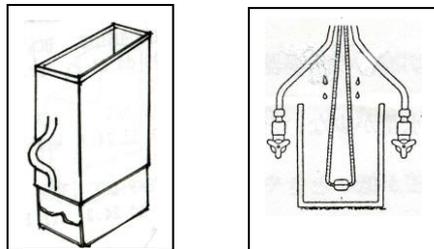
水側の止水栓を絞って、水量を湯量の 1.5 倍くらいになるようにして下さい。

温度調節がしやすくなります。



●水受容器の設置

ホースに水がつたいキャビネット内に浸入する場合があります。またホースが破損した際キャビネット内に水が垂れることを防ぐため、必ず水受容器をご使用下さい。

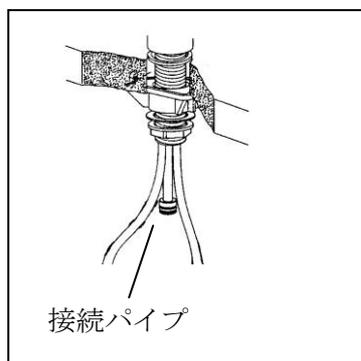
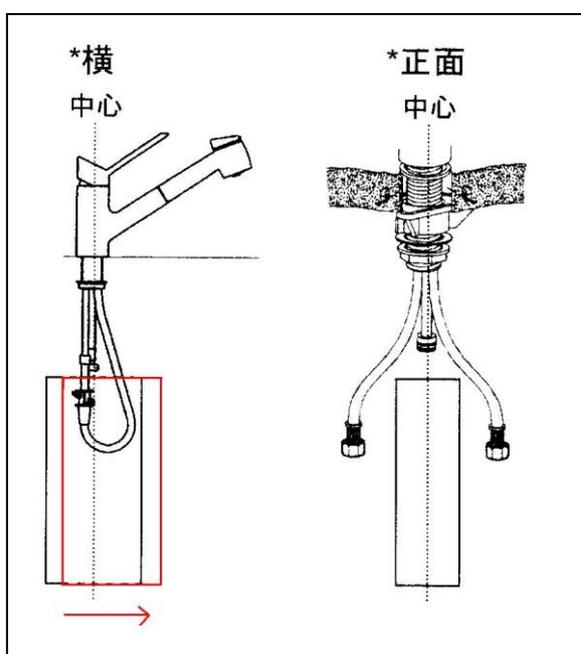


- ① ホースのねじれがないことを確認する。

また、水栓金具本体下部にあるホースとの接続パイプが真下（水受容器）に向かっていることを確認して下さい。

- ② 水栓金具の中心に水受容器の中心を合わせる（横・正面とも）。

また、水受容器の位置を前に移動させることで、よりスムーズにホースが戻りやすくなります。



※ 基本的には、上記の方法でホースはスムーズに出し入れ出来るかと思います。キッチンの仕様（水栓金具の取付け位置・ひな段の有無/サイズによっては、現場での微調整が必要になります。